

# もののふの美と心

～八代城主・松井家の刀剣と刀装具～

10月24日(金)～11月30日(日)

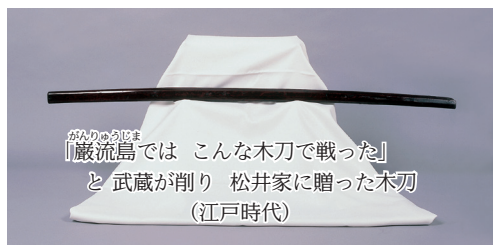
問合せ 市立博物館 ☎ 34-5555

もののふ(武士)にとつて刀剣とは、実用の武器であると同時に特別な意味を持っています。主君から拝領した刀剣は家のほまれであり、武士の美学を象徴する存在でもありました。

肥後細川藩の筆頭家老で八代城をあずかった松井家には、中世以来の名刀が多数伝えられています。その特徴は、実戦に適した「用の美」を備えたものが多いということです。また、刀身を収める刀装具(拵)は、肥後金工師による装飾金具を用いた「肥後拵」。茶人細川三斎の好みを伝える侘びた趣きが、全国の刀剣ファンをうならせます。

本展覧会は、松井文庫が所蔵する刀剣・刀装具の全貌を、はじめて八代で紹介するものです。

同時に、八代の誇る松井文庫設立30周年を記念して、秀吉や家康など天下人から拝領した松井家伝来の家宝、松井家と関わりの深い宮本武蔵ゆかりの品々も併せて展示します。



「巖流島ではこんな木刀で戦った」と武蔵が削り 松井家に贈った木刀 (江戸時代)



シンプルさの中に漂う風格「武蔵拵」 (江戸時代)

武家のお洒落アイテム「肥後拵」 (江戸時代)

秀吉から拝領した兎耳の兜 (桃山時代)

## ■開館時間

午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

## ■休館日

10 / 27(月)  
11 / 4(火)・10(月)・17(月)・25(火)

## ■入館料

一般 600円(480円)  
高大生 400円(320円)  
※( )内は20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※11月3日(月・文化の日)は無料開放

## ■主催

八代市立博物館未来の森ミュージアム/  
八代市/松井文庫/熊本日日新聞社

## ■協賛

宮嶋利治学術財団

## ◆特別講演会 I

「刀剣講話—松井家伝来刀の魅力—」  
とき 10月25日(土) 午後1時30分～  
講師 稲田和彦氏  
(京都国立博物館名誉館員)

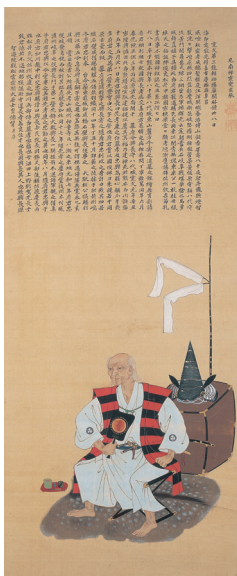
共催 宮嶋利治学術財団

## ◆特別講演会 II

「戦国時代の松井家」  
とき 11月29日(土) 午後1時30分～  
講師 林 千寿氏(市立博物館学芸員)

## ◆実演講座

「刀剣研磨師のしごと」  
とき 11月15日(土) 午後1時30分～  
講師 まさぐみ 正海郁雄氏(刀剣研磨師)



松井家二代興長の肖像画(寛文三年・一六六三)



細川三斎が実戦経験をもとに考案した甲冑(江戸時代)

鮮やかな刃文が魅力 刀 無銘 助真(鎌倉時代)